中学生とのタウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：未来の松山のこと、私の住む地区のこと』　令和6年7月30日（火）13：30～

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ☆ | 意　見　の　内　容 | 対応可能性と  対応時期 | 対応策または  不可能な理由等 | 担　当　課 |
| 1 | 北条から電車で高校に通う学生の負担を減らしてほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市内や周辺の市町には、普通科だけでなく商業科や工業科など、特色ある高校が数多くあります。  進学する皆さんは、自分の適性等を考えて学校や学科を選ぶ  ことができ、電車やバス、自転車など様々な手段で、自宅から  高校に通学しています。  このように、高校生の通学手段や距離は、それぞれ異なるため、  本市では、子育て世代に共通する経済的な支援を充実させて  います。  令和５年１２月から、通院・入院が無料になる年齢を１８歳  まで広げるなど、子育て環境が良くなるよう努めています。 | 教育委員会  教育総務課  野瀬　崇晃  089-948-6588  こども家庭部  こどもえがお課  遠富　由恵  089-948-6039 |
| 2 | 松山市の魅力や誇りは何ですか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市には、日本最古と言われる「道後温泉」や、全国で１２  しかない江戸時代以前に作られた天守のある「松山城」、  瀬戸内海の多島美の景色、柑橘の「紅まどんな」や「せとか」  など、全国に誇れる魅力がたくさんあります。  こうした魅力を、広報紙やホームページ、ＳＮＳなどを使い  市内だけでなく、市外にも向けて発信しています。  皆さんも、自分が住む地区の魅力を見つけて、さらに松山を  好きになってください。 | 総合政策部  シティプロモーション  推進課  篠﨑　亮  089-948-6705 |
| 3 | 効果的ないじめの未然防止策として何をしていますか。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、教員と一緒に、いじめられる側を「絶対に守る」  という強い意志で、安心して過ごせる学校づくりに取り組んで  います。  いじめの未然防止には、皆さん一人ひとりがありのままの自分  を受け入れ、お互いを認め合うことが大事です。  　毎月１０日の「いじめ０の日」に行うあいさつ運動や、市内の  小中学校の代表が話し合う「子どもから広がるいじめ０ミーティ  ング」を続けることで意識を高めています。  　万が一いじめに悩む時は、一人で抱え込まず、遠慮なく家族や  学校の先生、各中学校のスクールカウンセラーなどに相談する  ほか、下記の電話やメールの相談窓口をご利用ください。  【松山市いじめほっとらいん】０８９－９４３－８７４０  〔平日〕８時３０分から２１時〔土日祝〕８時３０分から１７時  専用メール [soskyshien@city.matsuyama.ehime.jp](mailto:soskyshien@city.matsuyama.ehime.jp)  【愛媛県いじめ相談ダイヤル２４】０１２０－０－７８３１０  ２４時間受付（通話無料） | 教育委員会  学校教育課  久保　敬寛  089-948-6599 |
| 4 | 南海トラフ地震で想定される地震の規模のほか、事前の備えと被災後の復旧で私たちに何ができるのかを教えてほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 南海トラフ地震がマグニチュード９で起こった場合、松山市内  のほとんどが震度６強から６弱のゆれに襲われ、最大３．９ｍの  津波が到達すると想定されています。  皆さんには、災害への備えとして、すぐに持ち出しできる物と  水や食料など備蓄品（１週間分）の準備や、家庭での家具固定、  お住いの地区で行う防災訓練への積極的な参加をお願いします。  また、防災の知識を学ぶことで、自分の命を守り、災害から  復旧する時は、家族や周りの人を助けることができます。  なお、各家庭に配布している「防災マップ」に、防災対策や  備蓄品の種類、防災の知識などを載せていますので、ぜひ確認  してください。 | 防災危機管理部  危機管理課  二宮　達司  089-948-6794  市民防災安全課  竹場　登  089-948-6795 |
| 5 | 少子高齢化になり伝統行事に参加する人が少なくなっています。  地域の伝統行事を守るための効果的な方法はありますか。  また伝統行事に参加する人を増やすために、私たちにできることは何ですか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 地域の伝統行事を守るには若い人の力が必要なため、地域の  大人の方々から伝統行事の歴史や作法などを教えてもらい、  皆さんの世代が受け継いでいくことがとても大切です。  大人の方々とのコミュニケーションを深める場所は、公民館や  まちづくり協議会が開催する行事や、３世代が交流できる  ふれあいイベント、防災訓練などがあり、地区内の回覧板や  学校から配布するチラシなどでお知らせしています。  皆さんには、友人を誘い一緒に参加して、大人の方々との  つながりをつくり、一人でも多く後継者になっていただきたいと  思います。 | 坂の上の雲まちづくり部  まちづくり推進課  久保京介  089-948-6330  教育委員会  地域学習振興課  松村　克彦  089-948-6918 |
| 6 | 災害が起きた時に、中学生にしてほしいことは何ですか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 災害が起きた時、松山市はまず人命救助に全力を尽くします。  その後、皆さんができるだけ早く元の生活に戻れるよう、  家をなくした方へのサポートや、心のケア相談などを行うほか、  道路や水道などの社会的インフラを復旧させるなど、市役所の  すべての職員が力を合わせ、災害からの復旧を進めます。  皆さんは、避難するときに、高齢者や障がい者の方に声を  掛けたり車椅子を押したりできますので、災害の時に動ける人に  なることを目指してください。  　なお、松山市では、災害の被害を減らすため、学校や市の建物  の耐震化を行ったり、市内各地区の避難所に水や食料を備蓄した  りするほか、防災訓練の実施、各家庭への家具固定の周知などに  取り組んでいます。 | 防災危機管理部  危機管理課  二宮　達司  089-948-6794  市民防災安全課  竹場　登  089-948-6795 |
| 7 | 過疎化や少子化を防ぐためにどのような対策を考えていますか。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、自分たちの地域や松山を好きになって、かけがえ  のない伝統や文化を受継ぎ、支えあい住み続けることが、過疎化  対策として大切だと考えています。  　そのため、地域とのつながりや愛着が深まるよう、地域の魅力  を学ぶ「ふるさと松山学」を授業に取り入れたり、公民館や  まちづくり協議会のイベント参加を呼び掛けたりしています。  また、様々なライフステージにあった支援が、少子化対策には  必要だと考えています。結婚を希望する方には、出会いの場づくり、新婚世帯には、住宅を取得する費用や家賃の支援、妊娠や  出産が不安な方には、相談窓口など、様々な取組みを切れ目なく  行っています。 | 総合政策部  企画戦略課  皆川　直也  089-948-6213  こども家庭部  こどもえがお課  遠富　由恵  089-948-6039 |
| 8 | 夜に災害が起こったときに、避難所となる中学校の校庭にライトがあると、安心して避難できると思います。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 学校施設の改修は、皆さんが安全・安心に過ごすための耐震化の工事を終え、現在は古くなった校舎を、これから長く使うための長寿命化の工事などを優先し計画的に行っています。  その他にも、大切な水を確保する応急給水栓や、マンホールトイレの整備を避難所になる学校で進めています。  　また、すべての市立小中学校に、災害時の停電に備え持ち運び  できる発電機とバルーン投光器（ランプを風船で覆った全方向を  照らす明るいライト）を１台ずつ置いています。  皆さんも夜間の移動を考え、災害時の持出し品の中に懐中電灯  やヘッドライトをご用意ください。 | 教育委員会  学習施設課  脛永　正広  089-948-6600  防災危機管理部  危機管理課  高内　芳子  089-948-6793 |
| 9 | 三津浜にある古い家を保全する活動を、何かしていますか。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  □その他 | 松山市では、平成２５年に、三津浜地区の古い家を残しながら  有効に使うため、にぎわいづくりを進める拠点「三津ハマル」を  つくりました。  　三津浜地区の空き家や古民家の情報を集めて、貸したい人と  借りたい人をマッチングしているほか、空き店舗を改修して、  お店をしたい人に貸出すチャレンジショップやシェアショップ  などの事業を進め、三津浜地区に移り住む人や、新しいお店が  増えています。  この取組は、地域の皆さんと一緒に行い、令和３年度に  地域づくり表彰の国土交通大臣賞をいただきました。 | 坂の上の雲まちづくり部まちづくり推進課  山本　彰一  089-948-6942 |
| 10 | 中学生の時からの海外留学はいいと思いますか。また松山市の海外留学支援制度は増やせないのですか。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ■検討中  □不可能  □その他 | 中学生という感受性の豊かな時に、外国の人と交流したり、  異なる文化を体験したりするのは、とても大事だと考えます。  　松山市と松山国際交流協会では、中学生の皆さんに国際的な  感覚を身に着けてもらえるよう、人材育成に取り組んでいます。  　姉妹都市や友好都市（アメリカ・サクラメント市、ドイツ・  フライブルク市、韓国・平澤〔ピョンテク〕市）に中学生を  派遣し、同じような年代の若者と交流するほか、ホームステイ  などの体験や、市内にお住いの外国の方と触れ合うことで、  コミュニケーション能力を高めています。  　海外派遣の内容は、より良くできるよう引き続き考えます。  また、希望する学校で協会職員が、海外派遣の説明や留学情報を  提供するほか、国際交流の学習会・イベントを増やすなど、  留学も含めた将来の国際的な活動につなげる支援も新たに検討  します。 | 産業経済部  観光・国際交流課  青野　寛子  089-948-6887 |
| 11 | 松山市では犬猫の保護対策を何かしていますか。また、中学生に協力できることを教えてほしい。 | ■可　能  ■対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 松山市では、「人と動物が共に安心して暮らせるまち」を  目指して、今年３月に松山総合公園の中に「はぴまるの丘」と  いう動物愛護施設をつくりました。  　ここでは、迷い犬や、けがをした動物を一時的に保護して、  飼い主にお返ししたり、里親にお譲りしたりしています。その他  にも、ペットを飼う心構えや、災害時にペットと避難する場合に  必要なものなどをパネルで紹介しています。  　また、本市では、エサやトイレなどのルールを作り、飼い主の  いない猫と数を増やさず共存する「地域猫活動」に取り組む  地域の皆さんに必要な費用を支援しています。  　中学生の皆さんには、飼い主のいない猫への無責任なエサやり  をしないようお願いします。かえって、フンや尿の臭いで  生活環境が悪化し、不幸な猫が増えることにつながります。 | 健康医療部  生活衛生課  渡瀬　彰  089-911-1807 |
| 12 | いろいろな世代が使える広い公園を作ってほしい。また公園のトイレの衛生状態が悪いので清潔にしてほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  □検討中  □不可能  ■その他 | 新しい公園を整備するには、地域の方から土地を提供して  もらったり、近くの家や道路の場所を移したりすることが  必要な場合もあり、賛成してもらう難しさがあります。  　そのため、松山市では、公園の古い遊具の交換などを優先して行うほか、大きな災害の避難場所になる  城山公園の堀之内地区を整備しています。また、地域の皆さんが  話し合い、ルールやマナーが決まった公園は、市がフェンス等を  整備し、ボール遊びができる公園にしています。  　トイレを含む公園の清掃は、「公園管理協力会」を地域の  大人の方々がつくり、休日などに行っていただいています。  今回のご意見をお伝えしましたので、きれいな公園になるよう、  皆さんもご協力をお願いします。 | 開発建築部  市街地整備課  眞鍋　大樹  089-948-6497 |
| 13 | 中島フェリーの運賃を、休日の部活動の利用や他地区の中学生が中島に遊びに来てもらうために、中学生料金の設定などして下げてほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ☐検討中  □不可能  ■その他 | 中島の大切な交通手段であるフェリーは、燃料や船の整備など  に多くの経費が掛かり、運賃収入のみで続けるのが難しいため、  国や県、松山市が一緒に支援しています。物価の上昇など、近年  の経済状況から、今は運航を続ける支援を第一に考えています。  　また、松山市では、島の魅力を多くの人に知ってもらう  「まつやま里島ツーリズム連絡協議会」を地元の皆さんとつくり、  活動を支援しています。  　島の自然や文化を体験するツアーやイベントがあり、島外から  の参加者は、帰りのフェリー代と自転車の運賃が無料です。ぜひ、  ホームページをご覧になって利用してください。  【「里島めぐり」のホームページアドレス】  https://www.ritoumeguri.com | 都市整備部  都市・交通計画課  渡邉　浩司  089-948-6448  坂の上の雲まちづくり部  まちづくり推進課  藤澤　祐司  089-948-6816 |
| 14 | 垣生地区では年２回、海岸の清掃をしています。ごみ問題について、他地区での取り組み事例と、松山市では、今後どのような取り組みをしていきたいのか教えてほしい。 | □可　能  □対応済  □今年度中  □次年度以降  ☐検討中  □不可能  ■その他 | 垣生地区での清掃活動に協力いただきありがとうございます。  他の地区では、海洋プラスティックごみの専門家との勉強会と  あわせてごみ拾いを行う事例などがあります。  　松山市では、まちを美しくするため、市民大清掃への参加や  ポイ捨て防止を呼び掛けています。  　また、ごみを減らすため、食べられる食品を捨てずに必要な人  にお譲りするフードドライブや、リユース店などの商品を使う、  分別して再資源化につなげるなど、３Ｒ（リデュース・リユース・  リサイクル）を進めています。  今後も、市民の皆さんと、事業者、行政が一緒になって、  持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。 | 環境部  環境モデル都市推進課  舛田　梓静  089—948-6434 |